

## 学校運営協議会 ～地域と一体となった教育活動の推進～

学校運営協議会制度は4年目を迎えました。日和山小学校では、新潟柳都中学校の学校運営協議会と同一日・同一会場にて、年間4回開催し、9年間における児童・生徒の教育について協議しています。

8月21日(木)には、今年度第2回の学校運営協議会を行いました。今回は、小学生、中学生が参加し、「しも町アドベンチャー」(日和山小)、「しもマルシェ」(新潟柳都中)についての協議を行いました。小学校は6年生児童4名が参加しました。しも町アドベンチャーで地域の方をお願いしたいことを伝え、この話合いにより、しも町アドベンチャーでは地域の方にボランティアをお願いすることができ、児童の活動の様子を見守っていただいたり地域の方と触れ合う活動が実現したりしました。

協議会開催後には、担当よりCS通信が発行されています。地域と一体となった教育活動の推進について、ご自分の立場から何ができるのかの視点をもってご一読ください。ご協力、よろしく願いいたします。



## 「ワン・フォー・オール」「オール・フォー・ワン」 しも町アドベンチャー

今年のしも町アドベンチャーは、「自分たちで考え」「自分たちで決めて」「やり遂げる」のキャッチフレーズのもと、昨年度よりもレベルアップし、子どもたちだけでそれぞれの場所を回り、クローバー班のメンバーで協力しながらやり遂げる「しも町アドベンチャー」でした。

準備では、クローバータイムの時間に、自分たちの班はどこへ行くのか、どんなルートで回るとよいのか、それぞれの所まで何分かかるのか、6年生を中心に話し合いながら綿密に遠足のコースを検討しました。また、自分たちの力でやり遂げるために、6年生に全てをまかせるのではなく、学年ごとに役割分担を行いました。

当日は、子どもたちの安全を見守るために、道路上の各要所になる部分に、職員が立ちました。各チェックポイントには、地域や保護者のボランティアの方からミッションを出してもらい、子どもたちと触れ合いながら遠足を盛り上げていただきました。

6年生のリーダーシップも、すばらしかったです。6年生の姿を見て、自分のことより班みんなのことを考えようとしたり、自分の役割をしっかりと果たそうとしたりする1年生～5年生のフォローシップも素晴らしかったです。

ゴールしたときは、「歩きすぎて疲れた」と言いながらも、自分たちの力でやり遂げたという充実感いっぱいの笑顔でした。実りある充実した「しも町アドベンチャー」となりました。

